

6-2 基本方針2 高齢者の健康づくりと介護予防の充実
 (2) 介護予防の効果的な取り組みの支援及び介護予防に対する意識の啓発

掲載ページ	75	事務事業名	介護予防・健康づくり事業(60歳からのフィットネス教室)		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	市内スポーツクラブで筋力トレーニング・健康体操等を実施します。					
事業の目的	高齢者の運動機能低下防止及び自立した日常生活の維持継続を図る。					
評価の指標	教室参加者数:各年度140人					
27年度	目標値	140人	評点	S	評価	高齢化が進む中で今後の成果が見込まれる。
	実績	142人			今後の取組	引き続き周知を強化するとともに、更なる参加者増加を目指し、関係機関との新たな手法を検討する。

掲載ページ	75	事務事業名	脳の健康教室		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	認知症予防に効果的な「読み・書き・計算」をわかりやすい教材で実践する「脳の教室」を開催する。					
事業の目的	脳の活性化を図りながら、身心の健康を保つとともに学習サポーターや仲間同志の交流で社会参加を促進する。					
評価の指標	参加者数:各年度(人)					
27年度	目標値	90	評点	S	評価	脳が活性化した、生活の張りが出たなど参加者からの感想をいただいています。教室は、学習サポーターや仲間同志の交流なども含め好評。
	実績	83			今後の取組	引き続き、周知に努め、結果を実感していただけるよう教室の運営を行います。また、新たな手法を検討する。

掲載ページ	75	事務事業名	介護予防講演会		担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	高齢者に多い脳血管疾患、肺炎、認知症などの疾病の予防や歯の健康に関する講演、調理実習を含む栄養教室を開催する。					
事業の目的	要支援要介護の原因等に関する講演等を実施し、要支援要介護になることを予防する。					
評価の指標	参加述べ人数 400人					
27年度	目標値	年400人	評点	S	評価	目標値を上回り、アンケートの結果でも、講演や調理実習等で学んだことを実践していきたい旨の回答をしている人が多かった。
	実績	953人			今後の取組	引き続き高齢者の介護予防に資する内容で講演や栄養教室を実施する

掲載ページ	75	事務事業名	すこやか支援プログラム対象者把握事業	担当課	高齢福祉介護課	
事業の概要	生活機能に関する状態を基本チェックリスト等で把握することによりすこやか支援プログラム対象者(要支援要介護状態になる可能性のある高齢者)を把握する。					
事業の目的	要支援要介護状態になる可能性のある高齢者を把握する。					
評価の指標	基本チェックリストの回収率 75%					
27年度	目標値	75%	評点	S	評価	介護認定を受けていない65歳以上の方を対象に郵送により実施する基本チェックリストは27年度で終了となるため、基本チェックリストの項目以外の生活状況健康状態等も把握できる内容にして実施したことにより、高齢者の生活状況健康状態を広く把握することができた。
	実績	61.6%			今後の取組	様々な事業等を通して要支援要介護状態になる可能性のある高齢者を把握する

掲載ページ	75	事務事業名	訪問指導事業	担当課	高齢福祉介護課	
事業の概要	うつ、閉じこもりの恐れのあるすこやか支援プログラム対象者に対して保健師等の訪問により健康状態を把握し、適切な指導を行う。					
事業の目的	うつ、閉じこもり傾向にある高齢者に適切な支援を行う。					
評価の指標	訪問・電話等によるフォロー件数 各年度189件					
27年度	目標値	年189件	評点	S	評価	目標値の80%を上回っている。また、栄養士等が、訪問し必要な支援を行うことにより、必要なサービス等につなぐことのできた人もいた。
	実績	年169件			今後の取組	引き続き、うつ閉じこもり傾向のある高齢者を訪問し必要な支援を行う。

掲載ページ	76	事務事業名	転倒予防教室	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	身体機能を維持向上し転倒を予防するための教室を開催する。また、参加者同士の交流等により高齢者の社会参加や外出の機会とする。				
事業の目的	転倒を予防し要支援要介護状態となることを予防する。				
27年度	評価	年々、高齢者の増加比に対し、転倒予防教室の参加者比が上回っていることから、転倒予防教室の認知度は高まっており、27年度の参加者は実1,550人、延べ15,589人であった。(一会場あたり59人)			
	今後の取組	引き続き実施する。参加者数が増えているため、これまで以上に安全に実施できるよう、注意喚起を行う。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	76	事務事業名	認知症予防事業	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	基本チェックリストにより、要介護要支援の可能性のある高齢者に対して、脳力アップ教室(認知症予防プログラム)、健康アップ教室(複合プログラム)を開催し、認知機能のアップを図る。				
事業の目的	認知機能の向上、維持をめざし、要支援要介護になることを予防する。				
27年度	評価	脳力アップ教室には実105人、健康アップ教室には52人の参加があった。参加者数及び参加率については、26年度に比べ向上しているものの、対象者の2～3%であることから、対象者が参加したくなるような工夫が必要である。			
	今後の取組	同様の取り組みとしては28年度までの予定となっていることから、目的を明確にしながら実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	76	事務事業名	運動器の機能向上事業	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	基本チェックリストにより、要介護要支援の可能性のある高齢者に対して、すこやか運動教室(運動器機能向上プログラム)、健康アップ教室(複合プログラム)を開催し、運動器機能のアップを図る。				
事業の目的	運動器機能の向上、維持をめざし、要支援要介護になることを予防する。				
27年度	評価	すこやか運動教室には、実179人の参加があった。参加者数及び参加率についても、26年度に比べ向上していた。(26年度の参加者数131人、7.55%、27年度179人、7.61%)			
	今後の取組	同様の取り組みとしては28年度までの予定となっていることから、目的を明確にしながら実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	76	事務事業名	複合事業(栄養改善・口腔機能向上・運動機能向上・認知症予防)	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	基本チェックリストにより、要介護要支援の可能性のある高齢者に対して、健康アップ教室(複合プログラム)を開催し、運動器機能、口腔機能の向上、栄養改善、認知機能の向上を目指して複合的なプログラムを実施し、要支援要介護の予防につなげる。				
事業の目的	複合的に機能の向上、維持をめざし、要支援要介護になることを予防する。				
27年度	評価	健康アップ教室(栄養改善・口腔機能向上・運動機能向上・認知症予防教室)の参加者は52人であった。参加者数及び参加率についても26年度と比べ向上している。(26年度26人、1.77% 27年度 52人 1.99%)			
	今後の取組	同様の取り組みとしては28年度までの予定となっていることから、目的を明確にしながら実施する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	76	事務事業名	いつでもどこでも歌と筋力アップ体操事業	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	やさしい童謡を歌いながら普段使っていない筋肉を動かす体操を行い、虚弱化予防を目指す。定期的に歌体操教室を開催することで、高齢者にキョウヨウ(今日の用事)とキョウイク(今日行くところ)の機会を提供し、健康的な生活が送れるように支援する。				
事業の目的	歌体操教室への参加を継続していただくことにより、虚弱化を予防する。				
27年度	評価	本事業開始(モデル事業)は28年度からの予定となっており、27年度はその運営者である歌体操ボランティアの養成講座を実施する。(事務事業名を「歌体操教室」変更する。			
	今後の取組	歌体操教室の実施会場の拡大を図る。28年度は3会場予定。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	76	事務事業名	健康維持推進事業	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	ケーブルテレビなどを活用し、介護予防に関する情報提供を行う。また、介護予防体操の普及啓発用ビデオ・DVDの貸し出しを高齡福祉介護課や地域包括支援センター窓口で行う。また、みんなで茅ヶ崎体操のパンフレット作成や各事業のパンフレット、チラシを作成する。				
事業の目的	介護予防に関する知識の普及、介護予防への取り組み意識の向上を目指す。				
27年度	評価	介護予防に関するリーフレットを作成し、65歳になる方への介護保険の案内に同封し、介護予防に関する情報提供を行った。また、ちがさき体操の普及啓発用DVD、CDの受け渡し件数も年々増えてきている。			
	今後の取組	今後も継続する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	76	事務事業名	一般介護予防事業(介護予防・日常生活支援総合事業)	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	29年度から介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)の一般介護予防事業となるため、その準備を行う。				
事業の目的	全ての高齢者やその支援者等に対して、要支援要介護の予防、健康状態の維持を目指す、様々な事業を展開する。				
27年度	評価	計画通り準備を行っている。			
	今後の取組	継続する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	76	事務事業名	介護予防・生活支援サービス事業(介護予防・日常生活支援総合事業)	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	平成29年4月から実施する介護予防・日常生活支援総合事業(総合事業)を実施するため、制度の体制を整える。				
事業の目的	要支援者等が利用する訪問型サービス、通所型サービスの類型を整える。				
27年度	評価	事業者、関係団体等へ聞き取りを行い、サービス類型を検討した。			
	今後の取組	29年4月の制度開始に向けて基準等を整備する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			

掲載ページ	77	事務事業名	介護予防従事者及び高齢者支援リーダー等研修事業	担当課	高齢福祉介護課
事業の概要	高齢者の介護予防を支援するボランティア(高齢者支援リーダー及び(仮称)歌体操ボランティア)を養成する。研修を受けた者は地区サロン等に参加し、ちがさき体操の普及、介護予防に関する話をするなど介護予防の啓発に努める。(仮称)歌体操ボランティアについては、歌体操教室を運営する。				
事業の目的	高齢者の介護予防を支援する。				
27年度	評価	高齢者支援リーダー養成講座及び(仮称)歌体操ボランティア養成講座についても定員を上回る応募があり、定員を拡大するなどの対応を行ったが、それでも受講できない方がいた。介護予防やボランティアに関する意識が高い市民が多いと思われる。			
	今後の取組	継続する。			
	進捗状況	②予定どおり進んでいる			